

# 翻訳入門

## — 英文法から考える翻訳の第一歩 — <演習編>

### 第4回課題

次の英文を和訳してください。

Daw Aung San Suu Kyi<sup>①</sup>, the emblematic figure of the Burmese opposition<sup>②</sup> and Nobel Peace Prize winner<sup>③</sup>, received the Vaclav Havel Prize for Creative Dissent<sup>④</sup> from the Human Rights Foundation<sup>⑤</sup>, during the San Francisco Freedom Forum<sup>⑥</sup> on September 28 at the Bently Reserve.

Moments before receiving the prize, Aung San Suu Kyi called for fostering “true friendship,” such as the one she had with the late Czech president for whom the prize is named, in order to direct attention to human rights violations. Her participation in the forum was part of a 15-day tour throughout the United States, including cities where the Burmese diaspora lives such as Fort Wayne, Indiana. She gave talks at various universities and received the Congressional Gold Medal of Honor<sup>⑦</sup> in Washington D.C., where she met with President Obama in the White House.

#### 【ヒント】

①Daw Aung San Suu Kyi→ドー・ウンサンスーチー

②Burmese opposition→ミャンマーの民主化運動

③Nobel Peace Prize winner→ノーベル平和賞受賞者

④the Vaclav Havel Prize for Creative Dissent→独創的な反政府活動家のためのヴァーツラフ・ハヴェル賞

⑤the Human Rights Foundation→人権団体 ヒューマン・ライツ・ファンデーション

⑥the San Francisco Freedom Forum→サンフランシスコ・フリーダム・フォーラム

⑦Congressional Gold Medal of Honor→議会名誉黄金勲章

氏名：フェロー花子 課題 No.4  
※氏名、課題 No.を必ずご入力ください。

## 翻訳入門 — 英文法から考える翻訳の第一歩 — <演習編>

### 課題提出シート

#### ■訳文

ドー・ウンサンスーーさんはミャンマーの民主化運動の象徴となる人物かつノーベル平和賞の受賞者で、ベントレー保護区リザーブで9月28日に行われたサンフランシスコ・フリーダム・フォーラムでは、独創的な反政府活動家のためのヴァーツラフ・ハヴェル賞を人権団体ヒューマン・ライツ・ファンデーションから受け取った。

賞を受け取る直前、ウンサンスーーさんは、人権侵害に対して直接注意を向けられるよう、その賞の名前にもなった故チェコ大統領と築いていたような「本当の友情」を育てることを呼びかけた。彼女のフォーラムへの参加は、15日間の米国滞在の一部で、ビルマの国外離散者が多く住んでいるインディアナ州のフォートウェインのような都市も含まれた。[④ホワイトハウスでオバマ大統領と会見した] [②ワシントンD.C.では、] [①彼女は様々な大学で講演し、] [③議会名誉黄金勲章も受け取ったて、]

**コメントの追加 [A1]:** 「ドー・ウンサンスーー」  
／「ウンサンスーーさん」  
※Daw は敬称なので、ここではヒントにある「ドー・ウンサンスーー」のほか、「ウンサンスーー氏」などとしても正解としています。

**コメントの追加 [A2]:** ※the Bently Reserve  
サンフランシスコにある会議場で、かつてはサンフランシスコ連邦準備銀行の建物でした。(課題文では2012年当時の出来事が記されています)

**コメントの追加 [A3]:** 報道等では便宜上短い表記を用いることもあります、ミャンマーの人々は姓を持たず「ウンサンスーー」で個人名となるため、「スーー」などとするのは適切ではないとされています。

**コメントの追加 [A4]:** 「友情を引き合いに出し」

**コメントの追加 [A5]:** 「一環」

**コメントの追加 [A6]:** 「ミャンマーからの難民」

**コメントの追加 [A7]:** where she met with～  
非制限用法。アドバイス参照。

#### ■質問

提出する課題について質問がある場合は、質問したい箇所と質問内容を記載してください。

賞の名前や場所名が長いと読者には分かりづらいのではないかと思いました。訳す際の注意点などを教えていただけますか。

#### ■感想（課題1を提出する際は受講の理由もご記入ください）

今まで英語の意味をなんなく理解しているつもりでしたが、いざ翻訳するとなると、どの単語がどの部分にかかっているのかを正確に把握し、さらに分かりやすい日本語にするのが難しいと感じました。

#### ■添削結果に関する質問（本課題の添削結果を受領された後、質問を提出する際は以下にご記入ください）

-----以下はご記入不要です-----

担当：○○

解釈力：B

表現力：B

#### ■アドバイス

自然な日本語にするのはもちろんですが、解釈を間違えると、どんなに表現を工夫しても誤訳になってしまいます。

原文の意味を失わないために

①辞書や文法書を丹念に引いて文法的な裏づけをしっかりとしながら、正確な直訳をする（正しい解釈なら表現は不自然でも意味は通るもの）

②自然な日本語表現になるよう工夫する（国語辞典や類語辞典も参考に）

という2段階で訳していくことをおすすめしています。

訳す前に、動詞を目印にして文型（5文型）を見きわめ、アンダーラインやカッコを利用して文の主従・修飾関係を整理する習慣をつけていきましょう。不明事項では辞書のほか、『ロイヤル英文法』（旺文社）等、ご自分に合った文法書も利用してください。『英和翻訳表現辞典』（研究社）や『日本語の作文技術』（朝日文庫）等の書もテクニックの面で助けになりますよ。

実際の人名・地名などは、これからも必ず背景事実を確認しましょう。翻訳では背景となる専門知識も深める必要があり、訳者に知識がない場合でも、その分野の専門図書や専門家にあたる等、あらゆる手段を尽くしてリサーチを行います。これは翻訳のあらゆる分野で必要となる作業ですので、訳出の際は図書館等で関連書を調べたり、インターネット（ネット上にある情報がすべて正しいわけではないこともふまえたうえで）を利用したりと、調査・確認がスピーディーに行えるように慣れておくとよいでしょう。

長くてわかりにくい文では、頭から訳して（訳し下げる）、途中で文を句点で区切ると読みやすくなりますが、文法的な原則に従う以外に、前後関係に着目して論旨の流れが乱れないように注意することがポイントです。

ケースバイケースですが、違和感がないかぎりは、できるだけ原文の語句を生かすように心がけるのが基本です。しかし、そのまま訳したのでは読み手がすぐに真意を理解できない、何か補足しないと意味が通りにくいと判断できる場合は、何かしら表現に工夫（意訳、補足訳など）が必要となります。この点を判断基準にされるとよいですね。その際はあまり訳しすぎず、最小限の表現を心がけるとよいでしょう。

called for～named は、賞の名前に冠された亡きチェコ共和国大統領との友情のような、「眞の友情」を育むよう呼びかけた、という意味合いです。ここでは協力を呼びかけたことを表していますから、～との友情を引き合いに出し、「眞の友情」を育むことの大切さを呼びかけた、などと工夫しても文意が伝わりやすくなりますよ。

ホワイトハウスでオバマ大統領と会う前に勲章の授与は行われていたという事実関係から、時系列に合わせて訳出する必要があります。where は「そしてそこで (and there)」という意味で訳し下げるとき、原文の流れが自然に伝わりますね。

his mother, who lives in London 「ロンドンに住んでいる彼の母親」のように訳されることもありますが、3-1-4 にあるとおり、非制限用法の関係代名詞節は先行詞に説明を付け加えている（情報を追加する）ものですから、原文どおりの順序で訳し下げるのが原則とお考えください。さらに機能としては、連結用法（接続詞 + 代名詞に置き換えて考えられる場合）と挿入用法（文の途中に挿入して補足的説明を加える場合）とに分けられますが、文脈に応じて判断することになります。

課題文では 2012 年当時の出来事が記されていますが、一説によれば、2010 年の調査ではフォートウェインに住むミャンマー系アメリカ人は推計 6000 人とされています。diaspora は、「(祖国を離れて四散した) 移住者集団」の語義が伝わる表現であれば正解としていますが、バビロン捕囚の後、ユダヤ人がパレスチナから離散したことによる言葉であり、それを用いて語っていることからも、ここではかなりの人数であったことを明確に訳出したほうが原文の内容に合うものと判断しています。